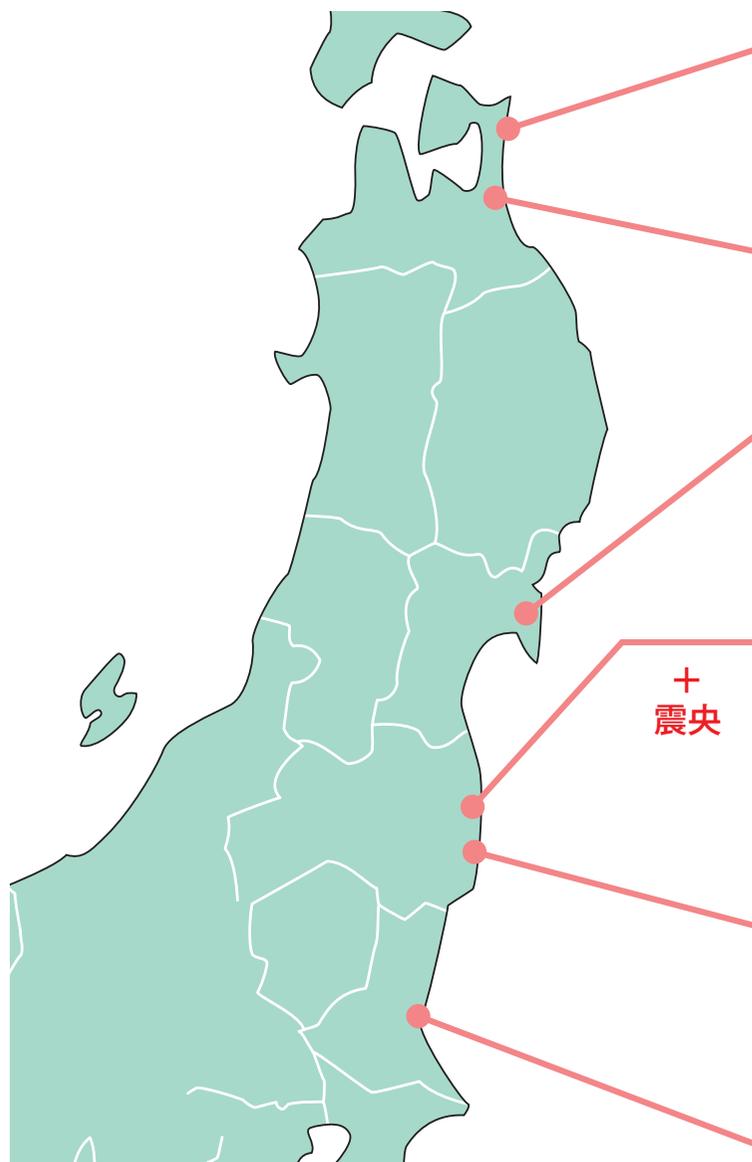


東日本大震災の影響を受けた原子力施設の現状

(2014年12月現在)



東北電力(株) 東通原子力発電所		
1号機		
地震発生時定期検査により停止中		

日本原燃(株) 再処理施設		
問題となる事象はなし		

東北電力(株) 女川原子力発電所		
1号機	2号機	3号機
地震により自動停止し冷温停止中		

東京電力(株) 福島第一原子力発電所					
1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
地震により自動停止し冷温停止状態*			地震発生時定期検査により停止中		

東京電力(株) 福島第二原子力発電所			
1号機	2号機	3号機	4号機
地震により自動停止し冷温停止中			

日本原子力発電(株) 東海第二発電所		
地震により自動停止し冷温停止中		

+
震央

※1~4号機は、燃料取り出し、廃炉に向けた作業を実施中

*冷温停止状態の定義

- 圧力容器底部の温度が概ね100℃以下になっていること
- 格納容器からの放射性物質の放出を管理し、追加的放出による公衆の被ばく線量を大幅に抑制していること(評価時点における格納容器からの追加的放出による敷地境界における被ばく線量1ミリシーベルト/年が目標)
- 上記2条件を維持するために、循環注水冷却システムの中期的安全を確保していること